

広報
三の之



2007

2



どんど焼きは正月飾りや門松などを焼き、年中の無病を願うもの。火が盛んに燃えるさまからそう名付けられました。町内には、地域づくりとして取り組むところが多く、長い竹を数十本束ね円錐形に立てたやぐらをあらかじめ準備しておき、当日それを燃やすのが一般的ようです。今年は大分県のところで小正月の1月14日に実施（中村のみ13日）。その日の夕方から各地のどんど焼きを取材しました。

14日は約2時間で8カ所を回りました。ここで取り上げた以外にも、どんど焼きをしているところは、まだまだたくさんあります。来年はぜひおしやましたいと思います。



中村

ま燃え続けていました。実行委員は「魔材をたつぷりと中に詰め込んだのがよかったのかなあ」とにんまり。毎年のごとですが、ここは食べ物が入り、前の日から仕込んであるそうで、どれも味が染みて、こつこつとして体が温まりました。特にぜんざいが良かったですよ。ピンゴ大会もありました。約50人参加。

今月号の表紙はここ。特設テントを設置するなどが入っています。やぐらは昨年12月17日に有志7人で組み立て。年末年始は電飾で飾り、クリスマスツリーにもなりました。今年には最高の出来。点火から40分過ぎてもきれいな形のま

口の国



取材したのが夜8時過ぎでしたが、まだまだ多くの人でにぎわっていました。その数60人以上。毎年1時ぐらいまでにぎやかだそうで、最後はお互いの顔に墨を付け合い、無病息災を祈るのが恒例。内容だけでなく、やぐらの作りも完璧です。使わなくなったホダ木を主な燃料にするのですが、いつまでも燃えるように乾燥したものとそうでないものをブレンドするのがコツ。確かに着火から2時間以上たったこの時点でも炎が勢い良く立ち昇っていました。年末年始に国道沿いに立てられたジャンボ門松もここで焼かれます。地域づくりが板についた地域だけに、どんど焼き一つとっても安定感があります。

桐木



1日でやぐら作りから本番までしてしまうのがここ。とは言っても高さが13メートルもある立派なもので、ちよつともつたいないような気がしますが、潔いといえは潔い。南山田の桐木1から4までの青壮年有志約50人が中心となり準備し、地元住民のほか近くの老人ホーム亀鶴苑の入所者も参加。総勢100人で楽しみました。子どもや後継者の減少が課題とありますが、実行委員の一人は「地域活性化のため、長く続けていきたい」と話していました。

奥野1



国道210号線沿いの田んぼに年末から設置された大きなやぐら。奥野1のみなさんが3日がかりで作った「大作」を目にした人も多いと思います。打ち上げ花火3発を打ち上げ開会。神事のあと、着火したら、あつという間に燃えてしまいました。参加者に聞くと、今年には出来も良かったが、燃えつぶりもすばらしかった。最後は全員で豚汁を食べ締め。来年は、もう一つ小さなやぐらを作り、吊橋をかけるのを構想中とか。期待していますよ。

2007

地域づくり、点火

川東下



どんど焼きのバイオニア的存在。20年以上の歴史を誇ります。どんど焼きをしたあと公民館や各家庭で新年会というのが例年のパターンでしたが、プレハブ小屋が手に入ったということで、野外パーベキューに切り替え。約50人が参加しました。多くの地区で地域づくりへの若い人の参加が少ないのが課題となつていますが、ここはうまく世代交代ができています。その秘訣は「とにかく毎月寄ること」。

富迫



地元青壮年会が1週間前に準備したやぐらを囲んで約40人が参加。ぜんざいなどがふるまわれました。青壮年会ではどんど焼きのほかコスモス祭りなど各種活動を展開。会の代表は「地城のみんなが集まるものは何でもやっていきたい」と話しています。

隣の中村地区と1日ずらして実施

なので、両地区のみなさんは今年、どんど焼きを2倍楽しむことができました。各家庭から持ち寄った餅を竹の先に刺し火にかざして焼き、それを食べ無病息災を祈る、本来のスタイルを守り続けているのがここ。「昔ながらの行事を子どもたちに伝えたい」との思いから十数年前から続いています。干支にちなんでいうわけではありませんが、このイノシシ汁は絶品。肉を細かく切り食べやすく、良く煮えた大根は口の中ではろりとくだけ、濃い目の味付けの汁がしみじみとうまい。このほか、鹿肉やあげパンをはじめとした差し入れが続々。大変にぎわっていました。約50人参加。

横尾



「どんど焼きで地域づくり」の先駆的

地区がここ。以前は子どもが多く盛大にやっていたましたが、最近は大人数にこぢんまりと、1週間ほど前に作った高さ2メートルのやぐらを囲んで15人ほどが楽しんでいました。ただ、昨年には比べやぐらの高さが一回り大きくなりました。参加者も他地区のやぐらの作り方をしきりに気にしている様子。巻き返しの前兆かな？

金山



生竜



焚き火？いえいえ立派などんど焼きです。6人ほどが集まり、それぞれが持ち寄ったしめ縄などを燃やし、湯飲み酒で乾杯。それだけです約3時間後、現場を通りかか

つたときも同じように火を開んで親交を深めていました。ただの焚き火に見えないこともないですが、こういったのもいいものです。

「冬の花火」というアイデアはここが九州で初。「第19回花火・ザ・宝泉寺」が1月13日に宝泉寺温泉でありました。

約2000発の花火とともに見所なのが高さ23・5メートルの「木とんど焼き」。相狭川の地域づくりグループ「いまいち」が中心となり、地元旅館組合に所属する若手経営者とともに昨年末に2日ガガリで作ったもので、中に仕込んだのが、使用済みのほど木2トントラック1台分と杉の葉4トントラック5台分。これに100本以上の竹を円錐形に立てかけ完成。

夜空がアチチ

観客が固唾をのみ見守る中着火すると、みるみる燃え上がり空高く炎が舞っていました。その熱量も半端でなく、会場一帯がしばしばくの間ははばかしていました。

冬場の観光客誘致のために始めたこの催しですが、その効力は絶大。会場には県内外から約4000人が訪れたほか、多くの周辺住民が自宅から観賞。宝泉寺温泉の粋なプレゼントを楽しんでいました。

「フィールドでの私を見てほしいです」

ホッケー女子日本代表チームが 北京オリンピックへ

日本代表チームの司令塔はあくまで冷静です。

12月にカタールのドーハで行われた第15回アジア競技大会（139競技・424種目）でホッケー女子日本代表チームが銀メダルを獲得。北京オリンピックへの切符を手にしました。

「史上初の金メダルを目指していたので悔しいです。ただ、オリンピックまで1年8カ月のこの時点（12月現在）で出場が決まったことは、とにかく大きいです」

こう話すのは、チームの中心、岩尾幸美さん（小平谷）。

優勝は中国。久々に底力を見せ付けられたと決勝戦を振り返ります。初出場で8位に終わったアテネオリンピック（04年）で日本チームは、ゴール前の攻撃力不足が課題になりました。以後、「堅守速攻」から「堅守強攻」へとチームづくりの方針を変更。今回は、それが順調に現れた結果と「見る」こともできそう。しかし、岩尾さんは慎重にチーム状況を分析します。

「確かに数字的にはいいものを残したかもしれませんが、全体的に押し気味の試合展開だったのが非常に気になります。世界の強豪チームと互角に戦いあうには、まだまだ課題が多いです」

岩尾さんの守備位置はミッド・フィルダー。フィールドの中央付近に位置し、攻撃と守備

の両方に関わる重要なポジション。試合全体の流れを決める役割もあります。

「相手から攻め込まれて、そこから抜け出せなくなる場面がよくありました。ミッド・フィルダーでのポールの支配力が弱いというのがチー

ムが一番の課題。それはすなわち自分の課題です。まず自分が先に解決しなければということですが」

チームには日本代表として100試合以上を経験したベテランが岩尾さんを含め5人いる一方で、若手の台頭も著しく進んでいます。



ホッケー女子
日本代表チーム

岩尾幸美さん



「いろいろな場数を踏んできたので、自分たちのがんばりどころがわかる人が多くなったし、それぞれの役割の中でどれだけの力を出せばいいのかもわかってきました。そうしたチームバランスが取れてきたことが今回の結果につながったと思います」

ただ、知名度が低いなど、チームを取り巻く状況は依然厳しく、遠征や合宿の費用を自分たちで負担することも、ホッケーの知名度を上げたい。そんな選手たちの願いが今のチームを支えているのは間違いありません。負けが込んでいた下積み時代の経験も忘れてはならないと岩尾さんは言います。

「それに常日頃から周りへの感謝を忘れないこと。自分がここに立っていることの意味、価値を常に頭に置いてほしい。まずは私自身の役割を果たすことが先決ですけど、若手に伝えるとすればそんなことかな」

オリンピック出場が決まり大手清涼飲料水メーカーがスポンサーに名乗りを上げるなど、環境にも好転の兆しが見え始めています。

「本当は、オリンピック出場枠を取った時点で、若手に譲ってもいいかなという気持ちも少しありました。しかし、やっぱり選手として選ばなければ意味がありません。同じ年には地元で国体もあることだし、ここは最後の踏ん張りどころ（笑）。今までのお礼の意味も込めて、フィールドでの私を見てほしいです」



▼前列左が麻生靖さん。麻生さんの大学時代の恩師の一人が、醸造学・発酵学の第一人者で作家・エッセイストとしても人気的小泉武夫さん。

「本物の調味料を海外で見て来いと20歳の頃、先生から言われたんですよ。当時はよくわからなかったのですが、今になってみるとその価値がわかるようになりました」

小泉さんはこの春から別府大学の客員教授になることが決定。麻生さんはその機嫌しになりました。



九重の 昔の味を これからも



▲「これまでも、これからも。同社のパンフレットに記されたそんな言葉にも商品作りに対する姿勢がうかがえます。」

昨年11月に行われた「第49回全国味噌鑑評会」（社団法人中央味噌研究所主催）で、有限会社麻生醤油醸造場の出品した「麻生 麦赤」が最高賞にあたる「農林水産大臣賞」を受賞しました（全応募作品655点）。

「おふくろの味」の素となる味噌や醤油。特に味噌は地方によって、味も色も大きく変わります。九州でよく使われる麦味噌は、他の味噌に比べ原料の大豆に対し麹の割合が高く、特有の香りと旨み特徴。しかし、全国的に見ると少数派で、同賞を麦味噌がとることはなかなか難しかったとい

われています。それだけに感激もひとしお。社長の麻生靖さんは「麦味噌という名前が全国的に流れたのが誇り。大きな意義があると思っています。玖珠が日本の麦の発祥地という有力説があります。その意味でも今回の受賞は快挙。」

同社は県内でもここだけというムロブタ麹を使った昔ながらの製法を守り続けており、味噌作りの肝（きも）とされる温度調整なども機械に頼らず自然まかせ。使用する樽には創業当時のものもあり、昔の味がしっかりと受け継がれています。

「町内にも、うちの商品を何十年とかわいがってくれるお客さんがたくさんいます。そんな方々に心から感謝しています。今回の受賞はいろんな方のおかげです」

現在、麻生さんを含め従業員は10人。受賞作を製作当時、麻生さんは腰の手術のため入院。やむを得ず病室から指揮を出すことになったため、最初は自信がなかったと振り返ります。しかし、大分県の味噌作りの第一人者「大分みそ協業組合」の穴見工場長のアドバイスを受けながら、従業員が一丸となり作った完成品は麻生さんが見ても、会心の出来。

「そのとき、これはいけるんじゃないかと思いました。審査員からは、照りや香りがうまく出ており、雑味も一切ないと評価を受けました。今度ばかりは従業員のみなさんに助けられましたね。うれしいです(笑)」

麻生醤油醸造場が創業したのは昭和20(1945)

年。現会長の麻生秀雄さんが、九重町が信州に近い気候であることに着目。商号の「ヤマフネ」は昔、同地は海運が盛んで近くに船着場があったことから命名したもので、味噌作りから始め、数年後には醤油作りにも着手。現在は、それらに加え味噌やドレッシングなど100種類を超える品揃えて、大分、福岡両県を中心に全国展開。多くのファンを獲得しています。昨年度の生産高は味噌300トンに醤油が500キロリットル。

2代目となる麻生靖さんが、東京農業大学醸造学科を経て経営に参画したのが1988年。

「自然発酵に頼るうちの製法を見て、最初は大丈夫かなと思っていたのですが、やがてこれが良いのだと確信しました」と当時を振り返る麻生さん。今でも専門書をひも解くなど研究に余念がなく、商品開発のヒントにするため海外視察も毎年欠かさず続けています。見て回るのは主に市場や醸造場。

「発酵食品をめぐる環境は日本に比べ遅れていることが多いのですが、遅れているからおいしいというのがあるのです。大きなメーカーに出せないおいしさというのかな」

いつも商品を持ち帰り研究。そこからまた新しいヒントを得ることもたくさんあります。

「いざ商品を開発して売り出しても、これはいけると思ったのがこけたり、あまり期待していないのがヒットしたり。この仕事のおもしろいところですね。失敗してショックを受けることもありますよ。しかし、なぜそうなったかと反省することから新たな可能性が生まれてくるものだと考えています。失敗したら逃げるか、挑戦するかですが、私は挑戦を続けたいです」

全国一となった味噌。実は九重町で昔から普通に売られ、食べられているもの。それが一夜にして脚光を浴びたわけで、ちょっとしたシンデレラ・ストーリーと見ることもできそう。これからは良質な井戸水と寒暖の激しい気候風土。そして昔ながらの手作りを守り、決して急ぐことなく。そんなスタイルを守っていきたくと話します。

「九重は自然に恵まれ、商品作りをしていくうえで非常に良いところ。それを生かし、壊さないようなものを作っていきたいと考えています。私自身、この町にもものすごく愛着がありますし、今東京にいる息子も帰ってきたときは、いつも空気がおいしいと言っています」

麻生醤油醸造場の味噌は、初代・麻生秀雄さんの時代に一度全国表彰をうけており、2代続けては快挙。現在、息子の隆一郎さんは東京農業大学で醸造の勉強中で、いずれはふるさとに帰り、醸造場を引き継ぐ予定だといっています。

「3代続けて全国表彰をとる」。それが今の夢です。

麻生醤油醸造場の味噌が全国最高賞

韓国ソウル近郊富川(フシヨン)市の中学生8人が1月3日から3泊4日の日程で九重町を訪れ、8家庭でホームステイをしました。

国際的な視野を広めることなどを目的に毎年行われている「カッコウの翼」で昨年8月、町内の中学生8人が富川市を訪問。その際に交流した富川市の中学生を受け入れたもので、同市農協関係者4人も同行しました。

1月3日には役場で歓迎式があり、坂本町長は「韓国は一番近く、歴史や文化でも深いつながりがある。アジアや世界の平和のため交流を深めてください」とあいさつ。受け入れ側の江藤まなみさん(南山田中)がハンケル語で「去年はお世話になりました。そのときのように、今回の交流も有意義であることをお祈りします」と述べると、韓国側代表のベク・ウォン(白慧)さんは日本語で「再会できてうれしいです。3泊4日は短いですが、日本のみなさんとさらに親しくなり、いい思い出にしたいです」と再会を喜び合いました。

韓国の中学生は8月に受け入れた中学生の家庭にホームステイしたほか、九重、夢、大吊橋や高崎山などを観光。車が左側通行(韓国は逆)や食べ物の違い、神社など日本

の生活・文化に興味津々の様子でした。女子中学生の一人は日本の印象について「町の中のごみの少なさが印象的。受け入れ家族のみなさんは、すごく優しく、細かなことも教えてくれ、とてもありがたかったです。ぜひまた日本にきたいし、将来住みたくなるかも」と笑顔を見せていました。家庭でのコミュニケーションは英語や身振りが中心。九重町の中学生の一人は「国や言葉は違うけど、みんな優しくして親切なんだというのが勉強になりました」と今回の取り組みを振り返っていました。

カッコウの翼は1993年に始まり、これまで200人以上の中学生が参加。これをきっかけに、国際社会に目を向けるなどの効果が参加者に出ています。



カッコウの翼

人の優しさに
国
の
違い
は
なし



再び カッコウの 翼に乗 って

九重町と韓国の中学生の交流事業「カッコウの翼」に5年前に参加した韓国・富川(フシヨン)市のバク・キョンジエ(朴慶在)くんが再び九重町を訪れ、1月6日から12日まで永楽勝政さん(串野)宅に滞在。農業の手伝いなどをしました。

バクくんが「カッコウの翼」に参加したのが2001年。そのとき、お互いの家庭にホームステイをするなどで交流したのが永楽さん宅の次男・陵くん。その後も文通やインターネットを通じて友情を育んできました。バクくんは「カッコウの翼」をきっかけに日本への興味が深まり、日本語もすっかり上達。この春に入学する大学でも日本語文化学科を専攻。英語も勉強し、将

来は日本と韓国の貿易関係の仕事に就きたいと話していました。一方の陵くんも世界に目が行くようになり、アメリカに1か月間ホームステイするなど、見聞を広めています。

永楽さん宅では蘭床シイタケの栽培をしており、バクくんは、その出荷の手伝いをする傍ら、陵くんと一緒にスキーに出かけたり、冠婚葬祭に参加したりするなど日本の文化にも触れました。日本の印象について、「ゆったりとした中に、豊かさを感じます」。一方、バクくんと農作業をした永楽いずみさんは韓国の若者を「何事にも積極的で優しい」と評価。「普段の生活でも両国の違いがいろいろあることを知り、とても勉強になりました」と話していました。



がんばったね

「野上地区新春子どもマラソン大会」が1月14日に豊後中村商店街でありました。野上中学校区の児童生徒を対象に「冬に体を鍛える」の趣旨で、野上青少年健全育成協議会が主催し50人以上のボランティアが加わり毎年開催されているもので、14回目の今年には約100人が参加。沿道の盛んな応援の中、ファミリー・幼児の800メートルから中学生男子以上3キロの5コースを走りました。レースが終わったら、破れた体とチャレンジ精神に甘いご褒美。参加者はボランティアグループ「はぎきの会」が準備したせんざいを負へ、温かいお茶を

1日に子どもが主催のマラソン大会や駅伝大会が町内各地でありました。どの会場も子どもたちの元気な声でいっぱい。今年も好スタートです。



走って、歩いて、ふるさと再発見

日本有数の好コースで走り初め。「第6回飯田高原新春走り初め大会」が1月3日に千町無田マラソンコースであり、4歳から76歳までの約70人が参加しました。同コースは夏を中心に、日本を代表する一流選手がトレーニングを積むところとして有名。雄大な自然を眺めながら、ふるさとの良さを再発見してもらおうと始められた大会は、小学校へのバス通学が4分の3を占め、ふるさとをゆっくりと見ることも貴重な機会。

昨年は、寒さが厳しく、放送設備のバッテリーが弱くなり使えなくなるなどのトラブルもありましたが、今年は比較的暖か（とは言っても寒いのに変わりありませんが……）。参加者は東部集会所をスタート・ゴールに、3キロ・4キロ・ウォーキングの3コースに分かれ走り初めをしました。コース途中には朝日神社があり、トレーニングウェア姿で初詣。大会終了後はせんざい会やピンゴ大会を楽しみました。



交流のタスキをつなぐ



東飯田地区ブロック対抗新春駅伝大会が1月14日にありました。同地区住民の体力の向上と親睦を図るため、東飯田体育協会が主催したもので18回目。

大会では、地区内を6ブロックに分けたチームのほか、少年野球チームもオープン参加。全7チームが田尻から東飯田中学校までの9.6キロを、小学生男女から一般男女までの8人がタスキをつなぎました。

地区対抗ということで目立ったのが沿道の応援の多さ。大会関係者は「地域活性化にもつながっているのでは」。ただ、選手がなかなか描けないのが悩みの種がそうで、今年もブロックで参加できたのは4チームのみ。体育協会では、来年は全ブロックが出られるようにするとともに、オープン参加については地区外にも呼びかけたいとしています。

この大会は約80人のボランティアで運営されており、地域・職種を越えた交流の場としても貴重。タスキは選手をつなぐものだけというわけではないようです。

九重町の1年は子どもたちの全力疾走で幕開け。「元旦マラソン大会」が小倉神社（南山田）周辺で1月1日にありました。子どもの健全育成を目指し、地元の川東の地域づくり行事として始められたもので、やがて南山田地区全体の行事へ成長。23回目となる今年は3歳から一般参加の44歳まで約40人が参加し、幼児の0.5キロから小学校高学年以上の2キロまでの4コースに分かれ走り初めをしました。

参加者の中には、帰省中の人の子どもの姿もあり、「親のふるさとでこういった催しに参加することは、子どもにとって、いつまでも印象に残り意義深い」と家族は話していました。一時は100人を超えた参加者も少子化の影響で減少傾向。大会関係者は「里帰り中の人に声をかけるなどして大会を継続していきたい」と話していました。



初日の出に向かって走れ

七福神ご一行様今年も現る

豊後七福神会（岩下恒之会長）による巡行が今年も1月2日から4日まで郡内であり、多くの人に福を授けました。

18回目となる今年は3歳から84歳までの約50人が「えびす様」や「大黒様」に扮し、樽酒や地元野菜を満載した宝船に見立てた軽トラックとともに各地を訪問。郡内の商店や事業所、老人施設などのほか、「夢」大吊橋をはじめとした観光施設にも「神出鬼没」。観光客に九重産の農産物をアピールするなど「観光大使」としてもがんばっていました。

1月5日には役場を訪れ、巡行の際、1000カ所近くから集まった浄財を寄付し、「（めで）タイ約り」のパフォーマンス（写真）などで町の繁栄を祈願。「今年もいいことがありそう」と坂本町長は喜んでいました。



SCRAP

共助

“福”をつかめ

SCRAP

大字湯坪地区では、小正月の行事「福俵入れ」が続いており、地元住民に喜ばれています。

「福俵入れ」は五穀豊穡や商売繁盛、家内安全を願い、小正月（1月14日ごろ）の夜に各家庭を回り、福俵を投げ入れるもので、俵についた紐を引き合う様から「福俵引き」と呼ぶ地域もあります。

湯坪地区では1993年に「湯坪保存会」（渡邊格雄会長・7人）の手により復活。毎年8軒ずつを回り、ほぼ一巡目が終わったといえます。福俵は長さ20センチ、直径13センチ。中心に五穀を入れ、その周りをわらや初殻で囲み、外側をわらで包んだものですが、畳表で包み見栄えをよくするのが湯坪流。毎年、年の瀬頃から1週間かけて会員が夜なべで福俵作り、当日は神社に俵を奉納したあと、そろいの法被とユーモラスなお面姿で各家庭を巡回。「五穀豊穡」や「家内安全」などの掛け声とともに福俵を投げ込むわけですが、俵についた5メートルほどの紐をうまく操作し、縦横無尽に動かし、10回くらいでやっと取れるようにするのがコツ。「福はそう簡単につかめてはいけませんからね」と渡邊会長は笑顔で話してくれました。「福俵入れ」に当たった家庭はその年縁談が決まったり、子どもが生まれたりするなど、めでたいこともあったそうで、昔を知る高齢者は特に「ありがたい」と大喜び。

架け干しが少なくなつたため、毎年材料となるわらの調達に苦労するほか、後継者確保も課題ですが、「後々まで何とかならないでいきたい」と渡邊会長。湯坪保存会では、盆踊りや秋祭りも継承。秋祭りでは鸞替え（うそかえ）を始めるなどより多くの人に古い文化に親しんでもらえる工夫をしています。



共助

「注意の火」は消しません

SCRAP

消防団特別点検が1月8日に粟野河原運動公園であり、町内13分団431人のうち365人が参加。人員・服装や分団ごとに所有する消防車29台の点検を受けました。この点検は、消防団員の日頃の訓練の成果を披露すること、より一層の技術向上を図るのが目的。小隊訓練（行進）やポンプ操作などでは、団員のきびきびした行動が見られました。点検終了後は表彰式があり、東飯田地区が「無火災地区表彰」を受けたほか、永年勤続者52人に対して表彰状が贈られました。

今年の消防全国統一標語は「消さないで、あなたの心の 注意の火」。消防団各分団では、火災予防活動の一環として昨年末、夜間巡視をしました。



“夢”大吊橋を まるごと召し上がれ

SCRAP



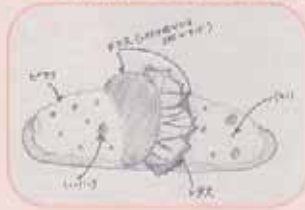
国産食肉を主材料とした創作料理を開発し、その内容を競う「ファミリミートクッキングコンテスト」大分県予選が1月20日に大分市であり、佐藤文子さん（後野上）の出品した「古鯨（げっけい）絶景」九重「夢」大吊橋が最優秀賞を獲得、全国大会に進むことになりました。

このコンテストは国産食肉の普及・消費拡大を目的に全国食肉事業協同組合連合会が主催するもので、佐藤さんは「地元食材を広めたいから」と昨年から応募。今回の受賞作は県内産米で作ったピラフを広げ、その真ん中へ大吊橋に見立てたタコスを立てたもの。タコスの間には豊後牛をはじめとした肉や野菜をたっぷり敷き詰めており、たくさんの方が渡っている大吊橋を表現しています（↓広報係の描いた想像図）。タコスのバリバリ感と肉のおいしさが楽しい一品です。

「やっぱり、家族の笑顔が楽しみだから」と料理の魅力を語る佐藤さんは、大分県中西部農業共済組合の発行する広報紙で料理コーナーを受け持つほか、料理やお菓子の教室も展開。

「これからは若い人に気軽に作ってもらえるような料理も考えていきたいです」

▼想像図。こんな感じでしょうか…。



News



Scrap book

各分野から寄せられた
ニュースを集めました。



自律のまちづくりに向けて、「自助」・「共助」に該当する取り組みには、このマークをつけています。

“夢”の一助に

SCRAP



九重「夢」大吊橋は好調な集客が続いており、1月末現在で通算61万人が来場。ひところの混雑はなくなったものの、気候が暖かくなることから客足が急増することが見込まれています。このため、町ではオープン直後から特に課題とされていたトイレやベンチ不足を解消するため、1月に開催した臨時議会で7000万円の補正予算を計上。5月の大型連休までの完成をめどに整備を進めることになりました。

九重町女性会議（矢野正美会長）が1月15日に坂本町長を訪れ、活動で得た収益金を九重「夢」大吊橋場内に設置するベンチ購入に充ててほしいと寄付しました。同会議は、男女共同参画社会の実現をめざし活動しており、町内の事業所や自宅などで働く女性で作られた9団体が所属。毎年「女性が輝く地域セミナー」などを開催しています。メンバーが大吊橋を訪れた際、座って休める場所が少ないことに気付き、今回の寄付を思いついたもの。同会議は、大吊橋オープン前には大量のてるてる坊主を作り、寄贈。そのご利益があつてかオープン直後は連日好天に恵まれ、予想をはるかに上回る来客があつたのはご存知の通り。

周りも美しい

SCRAP



ただ、九重町の場合は、ブロードバンド（高速・大容量インターネット）環境が整っていないのが難点。そのためCD-ROMの販売もしていません。まずはインターネット検索で「大分県 風景」とキーワード入力してみてください。「周りも美しい」大分県の風景が現れますよ。

温泉、食べ物、人の温かみ……大分県の魅力は数あれど、忘れてはならないのが美景の数々。佐伯市在住の志賀本昌さんは、大分県内の風景をパノラマ写真にしてホームページで公開。人気を集めています。

地元で衣服店を経営していた志賀さん。もともとカメラが好きだったそうですが、05年にホームページを立ち上げる際に、「人と違ったものをしなないと見てもらえないだろう」と思いついたのがパノラマ写真。「それに、観光パンフレットや絵はがきは一番いいところしか写さないの、周りも見せなければ本当にいいところか判らないと思います」と志賀さん。

以来、「2日に1回は県内各地に出かけ撮影、1日かけ写真加工」を繰り返して、これまで訪れたのは2000カ所以上、約30万枚となっています。「いいところが多いですね。特に飯田高原がいいです」と九重町もお気に入り、134カ所を撮影しています。

志賀さんのパノラマ写真はただ横長だけではないのがミソ。中には360度のものであるなどスケール感バツグン。三脚に固定したカメラを一部が重なるように少しずつ回転しながら撮影し、それをコンピューターの画像処理ソフトでつなげ出来上がり。最近是人間の視点に近い状態に固定したカメラで撮影し合成。それを緑と赤のセロファンで作ったためか、ねでみる「立体写真」も始めました。



議場でいつも町執行部に鋭い質問をしていた姿が印象に残っている人も多いと思います。24年という長い間、町議会議員をしてきた藤澤昌由さん。03年の引退後も、地域づくりや文化振興に関する団体の長を務めるなど、まちづくりの最前線で活躍。以前と変わらぬ多忙な日々を過ごしています。そんな藤澤さんの目に、今の議会はどうか写っているのでしょうか。



議員にも、住民にも、あるべき姿が見えている。

藤澤さんにとって、年4回の定例議会ごとに行われる一般質問は議員活動の中でも特に思い入れの深いものでした。自治体運営に対するチェック機能や住民の意見をすいあげ町へ提言をするなど、議会の役割は年々大きくなっていくといえます。藤澤さんも議会の役割を「ただ町から出されたものを審議するだけでなく、逆に提案して方向付けをすること」とし、一般質問はその舞台の一つと考えていました。また、住民に公開のもと、住民にとって身近な問題を町執行部と議論する一般質問は、住民と議会が一体となれる絶好の機会、しかし、現状は生かしきれ

ておらず、質問する議員も少数派というありさまが続いています。「議員の中に一般質問に対する意識の差があるんでしょね。ただ、質問する議員についても最近の議会だよりを見て質問と回答がかみ合っていないのが目に付きま

「議員を出しつばなしにするのではなく、報告会などを開くなどして住民が町政に関心を持ち続けることが必要。夢を大いに語り合うようなものでもいいんです。そうやって住民の町政への参加意識を高めると議会は活性化していくはず。選挙で中心となって応援した人たちが報告会を企画するのも良いかもしれません。ある課題について、議会が住民グループなどへ意見を聞くなどして連携していくのも有効な手立てになります」

のに、未だその意識が議員を含め住民の中に根強い。これじゃ地方自治の進展はありません。選挙の際には多くの候補者が地区推薦を受けていますが、地区内にはいろいろなか考え方を持つ人がいるし、多様性を認め合わなければならぬ時代。それに町全体のことを考えるべきという点からも地区推薦はまずい。さらには選挙運動もただ名前を連呼したり、お願いの言葉を連ねたりするだけでなく、候補者が所信や政策をしつかりと訴えることから現状は変わっていくはずです」

九重町議会では、夜間議会の実施や一般質問の際の「問一答方式」の導入など、「住民のひろば」となるべく、改革を進めています。が、もう一段の取り組みの必要がありそうです。

町内では、商店街の多くが、かつての賑やかさはなりを潜め、各集落ではひとり暮らしや高齢者のみの世帯が目立つようになってきました。これから不安視する「声なき声」があちこちから聞こえてきます。山積する課題をめぐりどう住民の声をすいあげ、対応していくのか、町議会の真価を問われる4年間になるのは間違いありません。

九重町議会議員選挙



住民の代表が 決まりました。

NOTE

全町一区制とは
九重町誕生以降、町議選は「地区別方式」がとられていた。旧4町村ごとに定員を決め、その議席を争つた。徐々に自分の地区に有利な投票行動や地区の均衡性が最優先され町政運営で支障が出るなど弊害も目立つようになってきた。「地区根性」が残る一因ともされたため、「全町一区制」の導入の気運が青年団を先頭に住民の間にも広がり、1975年に制度導入。その次の選挙から実行に移された。

当選者は次のとおり (50音順・敬称略)

氏名	政党	当選回数
安部 武己	無所属	6
井上 里子	無所属	4
梅木 征治	無所属	3
江藤 一幸	無所属	3
大石 光則	無所属	3
小川 克己	無所属	3
河野 範成	無所属	6
坂本 憲治	無所属	2
佐藤 勝憲	無所属	3
佐藤 博美	無所属	2
竹尾 允文	無所属	3
日野 康志	無所属	1
藤原 三治	無所属	1

任期満了に伴う九重町議会議員一般選挙が1月30日に告示され、13人が立候補。定数と同じになったため無投票となり、2月5日の選挙会で13人の当選が決まりました。町議選が無投票となったのは、1979年に全町一区制(→NOTE)を導入して以来、初めて。

16人から13人へと大幅に議員定数を減らしたため、当初は激戦も予想された今回の選挙。無投票に終わったことに、住民から戸惑いの声も聞かれます。70代の男性は「町にパワーがなくなったこととの現われではないかと非常に心配しています」。

昨年12月、「地方分権改革推進法」が成立しました。今後、地方自治体の運営手腕がより一層試されることになり、それとともに議会のチェック機能や政策立案機能の向上も求められます。町内には、高齢化に伴う福祉の充実や学校再編、各産業の振興など課題が山積しており、これらの対応も待ったなし。

議会(住民)と町が車の両輪となることで実現する「自律のまちづくり」。無投票となったことを、住民の議会離れや町政離れの表面化と危惧する向きもあります。その一方で、住民自治が高まってきたというものの、議会を通じて訴える段階までいっていないだけ。むしろ良い兆しととらえるべきではとの見方もあります。いずれにしても、住民が目を向ける議会をいかに作っていくかが、大きなテーマとなっているのは間違いがないようです。

新しい九重町農業委員

(50音順・敬称略)

氏名	行政区	選任別	氏名	行政区	選任別
赤峰 智子	狭間	議会	高倉 英俊	陣の内上	選挙
麻生 敏行	北恵良2	選挙	高倉 勲八	南区	選挙
岩尾 浄見	小平谷	選挙	高橋チエコ	重原	議会
宇佐 光徳	後野上	選挙	竹尾 庄八	桐木2	NOSAI
小田 詰志	串野下	選挙	時松 芳泰	中村下2	選挙
小野 敏彦	上旦	選挙	馬場 陸之	無田下	選挙
加藤 太郎	安川	JA	日野 英敏	木納水	選挙
木付 昭憲	菅原本村	選挙	日野 賢二	竜門	選挙
佐々木清和	猪牟田	土地改良区	藤澤 美保	岩の上	議会
佐藤 仁志	滝上	JA	吉武喜代子	前辻1	議会

農業委員会って何をするとこる?

農業者の代表として公選などにより選ばれた農業委員により構成される市町村の行政委員会農地法に基づく農地の売買や貸借の許可のほか、農地利用に伴う紛争の仲裁や担い手の育成などを行っています。

新農業委員が決まりました。

任期満了に伴う九重町農業委員会委員一般選挙が1月16日に告示され、立候補者が定数と同じだったため無投票となり、12人の公選委員が決まりました。その後、議会推薦の4人、農協(JA)推薦の2人、農業共済組合(NOSAI)推薦、土地改良区推薦の各1人が加えられ、合計20人の新農業委員が決まりました。任期は3年。



九重町農業委員会 ☎ 76-3805

高齢者福祉 充実の元祖が 再出発



養護老人ホーム亀鶴苑（南山田桐木）が3月31日付けで社会福祉法人玖珠会（熊谷治海理事長）に譲渡されることになり、1月23日に役場町長室で譲渡契約書の調印がありました。

亀鶴苑は1969年に故足立正平さんの寄付により建設。その運営には玖珠九重両町が設立した「玖珠郡老人養護組合」があたり、現在60人が入所しています。開設当時は、温泉熱を利用した各室暖房や1部屋2人という施設は県内に例はなく、亀鶴苑は玖珠郡の高齢者福祉充実のシンボルであり元祖的存在。しかし、国の制度変更をはじめとした施設運営をめぐる状況の変化や民間活力を利用したより満足できる環境づくりが求められるようになったことから、両町では亀鶴苑の民間移譲を昨年3月に決定。7月の公募を経て、玖珠会に譲渡されることになりました。譲渡されるのは、土地・建物を含めた一式で、無償。職員についても希望のあった8人を再雇用することになりました。

譲渡先となる玖珠会は1981年に設立。翌年、郡内では初となる特別養護老人ホーム玖珠園を玖珠町大隈に開所し、ここを拠点に、デイサービスや訪問サービスなどの在宅サービスも展開しています。

調印式には、玖珠会からが宝珠正徳玖珠園施設長をはじめとした4人が、玖珠郡老人養護組合からは管理者の坂本町長をはじめとした3人が参加。譲渡契約書の締結を終えた坂本町長は「これからも相互で協力し合い、いい運営を」とあいさつ。宝珠施設長は「地域とともに歩く老人ホームにしていきたい」と抱負を述べました。

玖珠会では、亀鶴苑での現状施設を利用した入所事業を継続するほか、訪問介護などの介護保険事業も導入。亀鶴苑祭をはじめとしたイベントも続ける予定で、地域福祉の拠点にしていきたいとしています。

生きがい健康づくり大作戦

日時 平成19年3月13日(火) 9:30~

場所 九重文化センター

内容

- 午前～●子どもと高齢者の交流ステージ
- 九重町のお通者さんに学ぶ
- 午後～●みんなで体操
- みんなで合唱
- 講演



「認知症(ほけ)は防げる治せる～ボケない地域づくりの実現」
エイジングライフ研究所 副所長 高橋絹子さん

*昼食は用意していませんので、ご持参ください。

問い合わせ

ふれあい生活課 ☎ 76-3802 生理学習課 ☎ 76-3823

家族介護者交流事業(元気回復事業)について

在宅で介護されている介護者の心身のリフレッシュを図るための事業です。対象者宅には参加申込書を送付しました。参加希望者は2月26日(月)までにふれあい生活課介護支援グループにご提出ください。

日時 平成19年3月7日(水)～3月8日(木)
9時頃に保健センター前集合、翌日17時頃保健センター前到着予定

場所 臼杵市～別府市～豊後高田市

内容 保健センターでの交流会、観光等

個人負担金 3,000円

その他 ①要介護1以上の高齢者を在宅で介護されている家族が対象となります。

②定員は15人。1世帯1人以内の参加となります。参加申込者には後日「決定通知書」を送付します。

問い合わせ、申し込み

ふれあい生活課介護支援グループ ☎ 76-3821



絵本で子育て・
親子で講演会

BOOKスタート

日時

平成19年3月10日(土)

午前10時～12時

講演会「みて きて 感じる 子育て」

日本図書協会評議員

渡辺順子さん

午後1時～3時

布絵本基礎講習会(希望者のみ)

場所

九重町保健福祉セン

ター 視聴覚室

申し込み・問い合わせ

九重町保健福祉センター

☎ 76-3838

九重町児童館

☎ 76-2500

絵本を通して赤ちゃんや保護者が楽しい時間をもつことを応援するブックスタートが、九重町でも今年度から始まりました。0歳でも5歳でも、その時の年齢に合わせた読み聞かせには意味があるようです。読み聞かせは良いとは知っているけど、どのように良いか、何を読めばいいのか解らなかつたりします。この講演会で、絵本の読み聞かせで育つ心の大切さを改めて知り、その奥の深さを感じてみませんか？午後からは、布絵本の基礎となる簡単な作り方の講座もご用意しています。

※参加申し込みは、3月2日(金)までに保健福祉センターか児童館へお願いします。

※午後の「布絵本基礎講習会」に参加される方は、材料費100円と木綿針2本を各自ご用意ください。

※託児を希望される方は、事前にお知らせください。昼食は各自でお願います。

甘くみるとコワイ! 生活習慣病



すっかり定着した「生活習慣病」という言葉。その名のとおり、日頃の生活習慣が大きく影響して引き起こされる病気で、毎日の過ごし方がとても重要になってきます。今一度生活習慣病についておさらいし、日々の生活を見直し、改善してしっかり予防しましょう!

定期的なチェックで予防効果をアップ

食事、運動、禁煙などの予防策がきちんと効果をあげているかどうか、こまめにチェックしましょう。もし、ちょっとした異変に初期段階で気が付けば、病気を治し、重篤な病気に進行していくのを防ぐことができます。早期発見のためにも、チェックは必要です!

健康診断を受けよう ～健診からはじめる健康づくり～

生活習慣病は、初期のころは自覚症状がないものが多く、自覚症状が出るころにはかなり重篤な病気に進行していることもあります。つまり、自覚症状を待ってでは手遅れなのです!

そこで、最も手軽に受けられるのが健康診断。九重町の住民(総合)健診は、5月から始まります。それに先駆けて、健診の希望調査を2月から3月にかけて行います。ぜひ受診しましょう。



家庭でこまめに体重チェック

年に1回の健診以外にも、もっとこまめにチェックして欲しいのが体重。できれば生理的な老化がはじまる30代になったら、体重計と体脂肪計を家庭に備えてください。

肥満は生活習慣病の入り口とも言える病気。しかし、肥満そのものは「ちょっと体が重くなったかな」「ベルトの穴が外側になったかな」程度の自覚症状しかないため、何の対策も立てずにそのまま放っておく人が少なくないです。肥満を予防するという事は、自分の体重や体脂肪、肥満度をきちんと把握することから始まります。

■ BMI による肥満の測定

1 1 まず、体重を身長²で割ってBMIを求めます。

$$\frac{\text{体重 (kg)}}{\left(\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)} \right)} = \text{BMI}$$

2 BMIの値をもとに肥満度を測定します。

やせ	普通	肥満1度	肥満2度	肥満3度	肥満4度
18.5未満	18.5～25未満	25～30未満	30～35未満	35～40未満	40以上

例 体重70kg、身長1.65m(165cm)の人の場合、BMIは
 $70\text{kg} \div (1.65\text{m} \times 1.65\text{m}) = 25.71$
 となります。
 これは、判定表のBMI=25～30未満に相当しますので肥満1度と判定されます。

住民健診についてのお問い合わせは、保健センター (☎ 76-3838) まで。

献血についてのお知らせ



- *日時 2007年3月15日(木) 10時～16時
- *場所 九重町役場(玄関フロア)

近年、献血可能人口の減少により、年間を通じて輸血用血液を安定的に確保することが大変厳しい状況にあります。

九重ライオンズクラブのご協力をいただき献血を実施しますので、多くの方々のご協力をお願いします。

問い合わせ先 保健センター ☎ 76-3838

東飯田地区放課後児童クラブ指導員募集

出勤日 月曜日から土曜日までの6日間
勤務時間

平日の月～金曜日 14:00～18:00
土曜日・学校休業日 8:30～18:00

*給与は1時間700円の時間給です。

募集締め切りは3月9日(金)

問い合わせ ふれあい生活課福祉グループ ☎ 76-3802



放課後児童クラブとは、仕事などで保護者が昼間家庭にいない児童に対し、授業終了後に施設等を利用して適切な遊びや生活の場を提供するものです。

愛玩鳥を鳥インフルエンザから守り、命あるものを大切に飼いましょう

宮崎県で高病原性鳥インフルエンザが発生しましたが、ご家庭で飼育されている鳥たちが危険なわけではありません。次のことを守って、これまでどおりに愛情をもって接してあげてください。

● 飼育鳥と野鳥との接触を防止しましょう。

飼育小屋に野鳥が入らないように開口部を防鳥ネット等で覆う。
野鳥にえさをあげたり、鳥のえさを入れた入れ物等を野外に放置したりしない。

● 毎日、鳥たちの健康状態を観察しましょう。

死亡が増えるなどの異常があった場合には、下記のところまでご相談を！

● 飼育小屋をきれいにしましょう。

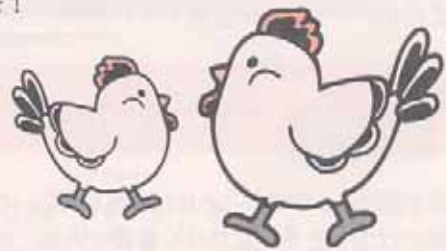
こまめに飼育小屋を掃除・消毒する（消石灰でよい）。
飼育小屋の出入り口に消毒槽を設置し靴の裏を消毒する。

● 手洗い・うがいをしましょう。

鳥たちの世話をした後は、手洗い・うがいをする。

● 自分の家で生まれた卵は食べても大丈夫です。

卵等を食べることで、鳥インフルエンザウイルスが伝染したという報告はありません。



飼育小屋等の消毒方法

インフルエンザウイルスは、一般的な消毒薬（逆性石けん・塩素系など）で容易に死滅します。
よく使用されている消毒薬（薬局等で市販）
→塩化ベンザルコニウム（逆性石けん）

— 方法 —

- ・ 200～500倍希釈
（例：200倍の場合、水20ℓに消毒薬100cc）
- ・ 出入り口の消毒槽に入れて、靴の裏を消毒
- ・ 噴霧器等で飼育小屋全体にかける
- ・ 消毒は天候のよい日を選び、定期的の実施

お願い

愛玩鳥は遺棄することなく、動物愛護の精神から引き続き飼っていただきますようお願いいたします。「動物の愛護及び管理に関する法律」では愛護動物の終生飼育の義務があり、遺棄した場合には罰則が適用されることがあります。

また、死亡した鳥は自宅敷地内等で埋葬するか、市町村に相談してください。

万一、鶏等の家きんに異常が発生した場合、速やかに次のところへ連絡し、指示を受けてください。

- 玖珠家畜保健衛生所 ☎72-0313
- 九重町役場農林課 ☎76-3804
- 九重町役場 ☎76-2111

救急車の正しい使い方

救急車を呼ぶときは、次のことを落ち着いて知らせてください。

- 住所、目標になる建物など
 - 傷病者の人数、性別、年齢
 - 傷病者の容態
 - 連絡先の氏名と電話番号
- 救急車が到着するまでに次のことを行ってください。

● 救急車の現場への誘導

● 救急隊が到着したら次のことを伝えてください。

- 到着するまでの傷病者の容態の変化
 - 到着までに行った応急手当の内容
 - 持病があればその病名とかかりつけ病院名
- 次のような救急車の利用はやめましょう。

● 通院や予定している入院のために救急車を使って病院へ行く

● 自家用車やタクシーなどでも病院へ行けるが、早く診てもらえそうなので使う

※本日に救急車を必要とする方が利用できなくなる場合がありますので、緊急でない場合は使用を控えましょう。

圏域外（日田玖珠地域外）の病院への搬送について

玖珠管内での救急出動は年間1000件以上にのぼり、その内医師の指示による圏域外搬送は50件を超えています。特に重篤でより高度な医療処置を必要とする患者で救急救命の観点から、近隣の病院（医師）の管理のもとで行うことを基本としています。

圏域外への搬送では長時間を要することになり次の事案の対応にも支障をきたします。

救急車の利用については、一層のご理解をお願いします。

問い合わせ 玖珠消防署救急救助係 ☎72-2141



図書館だより

★こわい鬼 やさしい鬼★

2月3日、節分の日、お宅では豆まきをしましたか？今や、鬼が私たちの生活の中に堂々と出てくるのはこの日くらいになってしまいました。では、絵本の世界の鬼はどうでしょうか。図書館にある絵本の中にも、鬼の登場するお話はたくさんあります。ももたろう、いっすんぼろし、だいくとおにろく、鬼の出でくる昔話の代表といえるものですが、鬼は純粋に恐ろしい存在として描かれています。一方、泣いた赤おに、おにたのぼうしでは、鬼はとても心やさしい存在として描かれています。また、九ひきのおおに、おにのこくんがやってきた、ちびっこちびおにのように現代の作家達の描く鬼は、恐ろしい存在というより、むしろ人間の心にすむ弱さの象徴として描かれているものもあります。

絵本が登場する前の時代、「おはなし」は人から人への口伝で語られるものでした。お母さんから子どもへ、おばあちゃんから孫へ・・・連綿と、少しずつ形を変えながら。眠る前のひととき、いろりにあたりながらおばあちゃんのひ



図書館開館時間
平日 10:00~18:00
土・日 9:00~17:00
月・祝 休み

ざの中で、子どもたちは、恐ろしい鬼の話にふるえあがったことでしょう。農作物を台無しにする自然災害や、打ち勝てない病魔など、人間の力の及ばないものへの恐怖を、鬼という存在としてお話の中に登場させて、子どもたちに自然に伝えていたのかもしれない。

泣いた赤おににも、おにたのぼうしの鬼も、後世の人たちが、鬼ばかりを一方向的に悪者にしてきた人間の身勝手さを反省して書かれており、非常に心打つ名作だと思います。しかし、こうして改めて絵本を開いてみると、昔話の面影を残す絵本の中の恐ろしい鬼こそが、日本人の心にある本来の「鬼」の姿に思えます。恐ろしいこそその「鬼」、と言ってもいいのかもしれない。

今や、絵本の中でだけ、鬼は自らの本領を発揮しているのかもしれない。時には、そんな鬼たちの様子を見に、図書館においでください。



新着本案内



《児童書》

つくってあそぼうシリーズ 1~20
そりあそび
やまのぼり
だれのあしあと
もしも空が落ちてきたら朝食に雲をいただきます
もしも暗闇がこわかったら夜間に星をくわえましょう
おでんくん 1, 2
トミカをさがせ！ミニカーのせかいへしゅっぱつ
はじめての文学 村上龍
おかあさんの紙びな

農山漁村文化協会
さとうわきこ
さとうわきこ
ふくだとしお
クーバー・エデンズ
クーバー・エデンズ
リリー・フランキー
村上龍
長崎源之助
その他

《一般書》

図説 中津・日田・玖珠の歴史
「江戸しぐさ」完全理解
5年で出生率を上げる法
モースの見た日本
江戸の庶民生活・行事事典
ええ加減にしなければ！アメリカはん
危ない食品食べてませんか
蝶々はなぜ菜の葉にとまるのか
らっきょう三昧
給食を生かす授業づくり12ヶ月

越川禮子
岩淵勝好
渡辺信一郎
米谷ふみ子
増尾清
稲垣栄洋
藤清光
農山漁村文化協会

餃子のススメ

働くママの超かんたんレシピ
もっと本格的に！手作りチョコレートのコッ
ウェストゴムのすっきり見えスカート
まらそんノススメ
九重山名歌集
子規のココア・漱石のカステラ
雙浄士
浮世でランチ
異常気象売ります 上・下
おんぶにだっこ
真鶴
わらの人
中庭の出来事
風は山河より 1, 2
双六で東海道
死顔
絶対、最強の恋のうた
セブンワーズ
ナイチンゲールの沈黙
ひとかけ
見えない誰かと
アリスの論理
桂枝雀爆笑コレクション 1

パラダイス山元

渡部サト
田淵由美子
小野喜美夫
坪内稔典
村田喜代子
山崎ナオコ
シドニー・シェルダン
さくらももこ
川上弘美
山本甲士
恩田陸
宮城谷昌光
丸谷オー
吉村昭
中村航
アレックス・ロビラ
海堂尊
よしもとばなな
瀬尾まいこ
宗宮喜代子
桂枝雀
その他

2月のハート降る

♡♡♡♡♡ 1111のえ

出産祝いのお返し

大変悲しいことに私の息子は学校で人間関係に悩み、そのメンバーの輪の中に入れて、苦しんでいました。そこから逃げ出せばよいよつなごうと、その活動が好きであきらめきれない、しかしメンバーとは会いたくない。そんな思いから体調を壊し病院通い。学級の先生、担当の先生も心から心配し親との話し合いにも熱心に取り組んでくれました。しかしなかなか解決せず、家族全員が暗い気分でした。

そんな時、祖母があるものを探し出してきました。もう十数年前、その息子が生まれたときに私の友人がくれた出産祝いの封筒。その裏にある詩が書かれていました。

生きる事がつらいとか、
苦しいとか言う前に
野に育つ花ならば、
力の限り生きてやれ

あるフォーク歌手の歌の一部がつづられていました。何となくマイミク。胸が熱くなりました。息子にもそのことを電話で伝えました。

先日、友人にその話をすると、「へえ、覚えちゃらん」。書いたときは、大意はなかったんでしようが、本当に勇気づけられました。今では少しずつ息子もメンバーとなじみつつあります。人の優しさって何気ない行動から生まれてくるものですね。本当に心から感謝です。

伝えたい「ちよつといい話」「心あた
たまる話」をぜひお寄せください。
連絡先 佐藤明郎 (076-22526)
郵便の場合は次のところへ。
〒879-14895
九重町役場企画調整課 広報グループ

民事介入暴力集中相談所の開設

暴力団等が関係した被害や不当な要求などの困りごとについて弁護士、警察官などが面接および電話による相談に応じます。

日時 平成19年3月5日(月) 午前10時～午後4時
場所 コンパルホール3階(大分市府内町1丁目)
 当日の相談電話は097-538-4704
 また(財)暴力追放大分県民会議では通常執務時間中、
 (☎097-538-4704)で相談を受け付けています。

国民年金保険料は「便利で安心、お得」な口座振替で

国民年金保険料の口座振替を「当月末振替」(早割)にすると、毎月50円割引されます。初回については、2か月分の保険料(前月分+当月分)の振替となり、その後の保険料は毎月50円割引となります。利用するには事前申し込みが必要です。手続きは預金口座のある金融機関または役場ふれあい生活課(☎76-3802)まで。

国民体育大会・全国障害者スポーツ大会ボランティア募集

募集期間 6月30日(土)まで
 詳細は役場生涯学習課(☎76-3823)に配置してある募集パンフレットやホームページ(<http://www.meiron.jp>)をご覧ください。大会は来年秋開催です。

問い合わせ 大分県国民体育大会
 障害者スポーツ大会局県民運動班
 ☎097-537-2008

町営住宅及び県営住宅入居者募集

募集住宅① 町営書曲改良住宅2戸
 (3K・九重町大字松木156-1)
募集住宅② 県営松岡台住宅2戸
 (2LDK・九重町大字右田3159-1)
申込期限 平成19年3月15日(木)
問い合わせ・申し込み
 建設課管理水道グループ ☎76-3811

町営簡易水道の水質検査計画について

建設課では、水道水の安全確認のため、水道法に基づき毎月定期的に水質検査を実施しています。

水道法の施行規則では、新年度に実施する水質検査の内容について「水質検査計画」を作成し、需要者へ公表することとされています。

町営簡易水道の「平成19年度水質検査計画」を作成しました。閲覧をご希望の方は建設課までお越しください。閲覧期間は平成19年3月15日から3月31日です。

平成19年度スポーツ安全保険募集

加入手続を行ったアマチュアのスポーツや文化・ボランティア・地域・指導活動を行う5人以上の社会教育関係団体の構成員を被保険者とするものです。

対象となる事故の範囲

被保険者の所属する団体の管理下における団体活動中の事故及びその団体が指定する集合、解散場所と被保険者の住所との通常の経路往復中の事故(学校管理下での活動中の事故を除く)。

加入条件

大人の団体は区分ごとに5人以上、子ども団体は子どもの合計が5人以上、1人あたり年間掛金は500円～9,000円。

加入受付期間は平成19年3月1日～翌年3月28日(保険期間は平成19年4月1日～翌年3月31日)

加入依頼書は、生涯学習課(☎76-3823)、大分銀行各支店においてあります。

加入に関するお問い合わせは

(財)スポーツ安全協会大分県支部 ☎097-552-0400
 受付時間 9:00～17:30(土日祝を除く)
<http://www.sportsanzen.org>

エクセル2003演習講座

日時 3月17日(土)～18日(日)午前9時～午後4時
場所 県立日田高等技術専門学校
受講料 無料(テキストは貸出。終了後返却)
対象者 企業等に在職する人でエクセル(表計算ソフト)を使ったことのある人

募集期間 3月2日(金)～9日(金) 定員20人を超えたときは抽選。

問い合わせ

県立日田高等技術専門学校 ☎0973-22-0789

110

交通安全

平成19年町内地区別事故発生状況(累計、属地)

地区別	人身事故		物損事故		件数計
	死者	負傷者	件数	件数	
東飯田	0	0	0	4	4
野上	0	0	0	6	6
飯田	0	2	2	32	34
南山田	0	0	0	4	4
計	0	2	2	46	48

(2007年1月末現在)



大分県議会議員玖珠郡選挙区における立候補予定者事前説明会

日時：3月15日（木）午前10時～（予定）場所：大分県玖珠総合庁舎3階大会議室

*印鑑持参 問い合わせ：大分県西部振興局総務部 ☎ 0973-23-2200

「大分いのちの電話」 カウンセリング公開講座

自己を見つめ、他者を理解する人間関係基礎理論などを学びます。対象は20歳以上。

前期（講座） 平成19年4月18日（水）から約4ヵ月間
毎週水曜日午後6時30分～8時30分

場 所 大分市コンパルホール

受講料は2万円、定員は70人。募集期間は3月5日（月）までです。

問い合わせ (社)大分いのちの電話 ☎ 097-537-2488

平成18年所得税確定申告のお知らせ

役場での所得税確定申告受付期間は、2月16日（金）～3月15日（木）です。なお、税務署の職員が来庁する申告相談日は次のとおりです。

● 3月1日（木）、2日（金）

相談時間 いずれも 9時～12時、13時～16時

場 所 役場3階 301会議室

例年申告期間終了一週間前になると、申告相談の待ち時間が長くなりますので、お早めに申告されるようお願いいたします。

※事業等（営業、不動産、農業）、土地や山林、株式等の売却による収入等のある方は、収入がわかる書類のほか必要経費等の領収書を整理して、集計した上で申告して下さい。家畜市場で牛を売却された方は「肉用牛売却証明書」を必ず持参して下さい。

※国民年金保険料は、「社会保険料（国民年金保険料）控除証明書」の添付等が必要となります。国民年金保険料等の不明な点は、大分社会保険事務局日田事務所までお問い合わせ下さい。

問い合わせ

役場税務課 課税グループ ☎ 76-3803直通

日田税務署 ☎ 0973-23-2136

国民年金保険料の問い合わせ

大分社会保険事務局日田事務所 ☎ 0973-22-6174

交通遺児育成基金制度

交通遺児（満13歳未満）が損害賠償金等の中から拠出金を払い込んで加入すると、この資金に国、民間からの援助金を加えて、安全・確実な運用をし、交通遺児が満19歳に達するまで3ヵ月ごとにまとめて育成給付金を給付します（年金方式）。

問い合わせ (財)交通遺児育成基金

(フリーダイヤル 0120-16-3611)

ホームページ <http://www.kotsui.or.jp>

日田玖珠広域行政事務組合解散による 事務移管について

平成19年3月31日で日田玖珠広域行政事務組合が解散することにより、各施設等の事務が次のとおり移管（移譲）されます。

日田市に移管するもの

日田清掃センター、日田環境衛生センター、済生会日田病院

玖珠九重行政事務組合に移管するもの

玖珠清掃センター、玖珠環境衛生センター、玖珠共同葬斎場、玖珠診療所、玖珠郡の介護保険審査判定

日田玖珠広域消防組合に移管するもの

日田消防署・玖珠消防署

民間移譲するもの

特別養護老人ホーム「敬天荘」（社会福祉法人翠明会へ）

4月より新設される事務所は次のとおりです。
玖珠九重行政事務組合（玖珠町大字大隈226番地5）
日田玖珠広域消防組合（日田市大字十二町558番地2）

問い合わせ 日田玖珠広域行政事務組合

☎ 0973-22-8224

平成19年度県政モニター募集

大分県では、電子メールや郵便を利用して、県政に対するご意見やご提案を提出していただく「県政モニター」（メールモニター160人・文書モニター40人）を募集しています。みなさんのご応募をお待ちしています。

活動期間は平成19年4月から翌年3月まで

応募対象 県内在住の20歳以上の方

応募方法

メールモニターを希望される方は大分県庁ホームページ上の「県政モニター募集」にある応募入力フォームでお申し込みください。

文書モニターは官製はがきでお申し込みいただきます。詳細はお問い合わせください。

募集締切 平成19年2月28日（水）当日必着

問い合わせ 大分県広報広聴課広聴班

☎ 097-506-2097

今月の
年金相談

日時 2月28日（水）10:00～15:00

場所 九重町役場1階・102会議室

今月の納税

【国民健康保険税】

納期限 2月28日

幸せになるひびね



心のトラブル

「どんな権利が自分にとって一番大切な」

子どもにアンケートをとると「休む権利」が上位にあがるそうです。疲れている子どもが驚くほど多いことが指摘されています。体を休める、心を休ませるとても大切なことですね。

大人にも「心の病」「心のトラブル」をかかえた人が増えているそうです。本人の努力だけではどうにもならない。まわりの人が本人の苦しみに気づき受け入れなければ対応ができません。理解と協力が大切です。人間を癒すのも人間を励ますのも人間にしかできない。人と人とが交流していくことで、人間は生き生きと生活することができると。人と人の「対話」がとても大事です。

人の話が聞ける——一番むずかしいことかも知れませんが、自分のことを話すことは、得意なんです（笑い）。相手の思いを充分に聞き入れる、相手の心をとらえる。聞くことには、人と人を結ぶ大きな力があると言われています。

悲しい事件が、連日報道されています。心が痛みますね。心は見えませんが、あなたの「心」元気でですか？心のトラブル感じたら、となりの人とちょっとお話ししてみましよう。

医療をめぐる人権として、私たちの社会では、多くの人々と同じように生活できない人々を病氣として特別に扱ってききました。時には、本人の意志に反して行動を制限することもありました。特にハンセン病やエイズのような感染症や精神病などについては、病氣への理解がされず、家族や社会から引き離すこともありました。しかし、病氣の様々な状態にある人々が自分らしく生きていくことは当然のことです。体も心も元気で。みんなに寄り添いながら。

隣保館人権啓発指導員 安藤千恵美

無料人権法律相談

2月21日(水)

午前10時～午後3時(役場301会議室)
相談担当者：人権擁護委員

行政相談

2月27日(火)

午前9時～12時(南山田公民館)
*心配ごと相談所と同時開催

3月6日(火)

午前9時～12時(九重町隣保館)

＝2007年2月・3月休日当番＝

病	月	日	医療機関名	住所	電話
院	2月	18日	高田病院	春日町	72-2135
		25日	武田医院	森	72-0170
			矢原医院	野上	77-6121
	3月	4日	北山田クリニック	北山田	73-2030
			長内科小児科胃腸科医院	春日町	72-2143
		11日	玖珠記念病院	塚脇	72-1127
		18日	麻生消化器科内科医院	山田	72-7100
			友成(町田)医院	町田	78-8811
		21日	井上医院	恵良	76-2711
			三池循環器科内科医院	塚脇	72-6101
		25日	友成(産婦人科)医院	塚脇	72-0330
			飯田高原診療所	飯田	79-2138

歯	月	日	医療機関名	住所	電話
科	2月	18日	内川歯科医院	日田市	0973-22-0320
		25日	おおくら歯科医院	日田市	0973-22-0222
	3月	4日	倉成歯科医院	玖珠町	72-0450
		11日	武内歯科医院	日田市	0973-22-3034
		18日	小野歯科医院	天瀬町	0973-57-2102
		21日	桑野歯科医院	日田市	0973-22-2556
		25日	是永歯科医院	玖珠町	72-1020

獣	月	日	獣医師名	電話
医	2月	25日	佐藤 獣医	77-6448
	3月	10日・18日・25日		
	2月		山本 獣医	78-9101
	3月	4日・11日・17日・24日		
	2月	18日・24日	甲斐 獣医	76-3324
	3月	3日・21日・31日		

★都合で変更する場合があります。

玖珠消防署：●救急は119番 ☎72-2141
●火災の確認は ☎72-5100

備考 大分県中西部農業共済組合 ☎73 4 0 9
休日当番の電話番号(携帯)は 090-5721-8191

歳時記

季題

3月号

「春浅し」「猫の恋」

「野焼き」

3月26日締切

4月号

「花見は梅」「囀りよきと」

「蛙」

4月26日締切

今月の季題

「香」「梅」「日脚伸ぶ」



孫達の帰りに残る雪だるま
飛行雲空を切りゆく梅二月
茶話の老いの寄り合い日脚伸ぶ
愛犬も二の足踏むや今朝の雪
はしやぎては孫の念願雪だるま
雪の宮蛇の水の音すがすがし
飛梅の伝説惚ぶ三分咲き
早生咲きの梅花チラホラなごむ窓
梅一輪挿して今年も活け上手
かおる梅すがすがしさの目覚かな
梅つぼみ神佛前で花開く
径の辺の庚申塚に日脚伸ぶ
母屋陰短くなりて日脚伸ぶ
立ち話しての間も日脚伸ぶ
雪もある久大線の標高差

「孫達の帰りに残る雪だるま」忙しかったが後は寂しい。「飛行雲空を切りゆく梅二月」梅花と青空、切れ味が良い。「茶話の老いの寄り合い日脚伸ぶ」日が長くなり茶話も弾む。どの句も日常の生活の中で、見たこと、体験したこと、思ったことを率直に句に纏めている。

選者 麻生 良昭

このコーナーは町民どなたでも応募できます。ハガキに作品名と住所、氏名、電話番号をお書きのうえ企画調整課広報グループまでご応募を。なお、応募作品は返却しません。

- 森高マサヨ 清竹 勇藏 玉井多喜子 佐藤 修正 藤澤 節子 甲斐 和子 赤峰 幸子 岩尾 奈加 原田 勝子 佐藤 節代 湯浅加代子 小野十三日 佐藤 元八 穴井久美子 選者 吟

添削がありますのでご了承ください。 広報

このえ 時間旅行

ふるさと再発見 149

地名を歩く 右田あれこれ(2)

九重町文化財調査員 甲斐素純

平安時代末期から戦国時代まで、野上地方を領していたのが、豊後清原一族の野上氏である。野上氏は清原正高を始祖とする一族で、正高の子正通、その五男兼繼(野上太郎大夫)をはじめとする系図や、正通の三男通次(飯田三郎大夫)の子とする系図など、数種がある。

飯田郷(現在の大字松木・恵良・右田・野上・後野上・田野)を領した通次には、五人の子がいた。長子「是次」は帆足郷(玖珠町大字帆足周辺)を領し、帆足氏・森氏などの先祖となった。飯田本郷は次子の「通貞」が領し、松木氏などの先祖となった。三男「末次」は恵良氏、そして「兼繼」が野上氏の祖先となった。

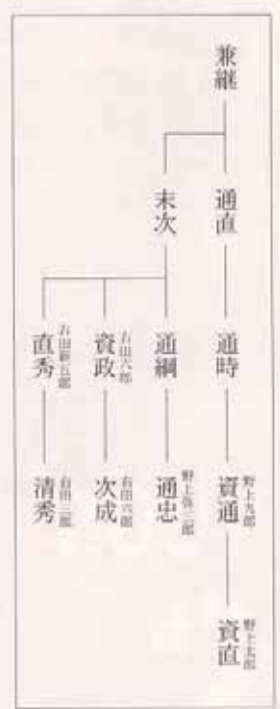
この野上兼繼には、長寛三(一一六五)年四月二十六日の「清原兼繼讓状案」があり、学界ではかつてこ

の文書に関して惣領制をめぐる論争があり、つとに有名な文書である。

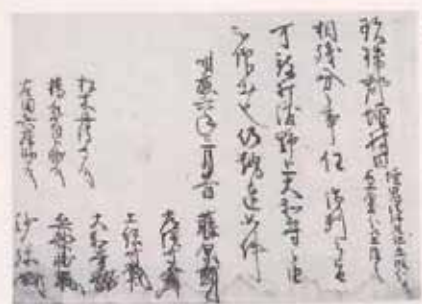
野上氏系譜を「清原姓長野氏系図」に依って記すと、右のとおりとなる。

弘安八(一二七九)年の「豊後国大田文写」によると、「野上村拾壹町六段大、本庄、御家人野上太郎資直・右田藤田四郎盛明法師法名道円、各々分領不分明」とあり、野上村田地十一町六段を野上・右田両氏が領していた。右田地域を支配した右田盛明は、前記資政か直秀の子孫であろう。

鎌倉時代中国の元が、二度に亘って日本を襲った「元寇」を記す時、必ず日本史や大分県史の中に、野上氏・右田氏や他の清原一族が登場する。それはなぜかという点、当時の直接史料・記録が、貴重にも偶然残されているからである。では、それはどこにあるかという点、現在「野上文書」として、東京都目黒区駒場の「財団法人前田育徳会尊経閣文庫」に、計十八点所蔵されている。同文庫は、加賀藩主前田綱利が収集した典籍・文書を中心に、



以後前田家が収集した文書・史料を所蔵・管理している。筆者はその写真版を所蔵しているが、野上文書の入手経緯を記した「覚」に依ると、かつて野上氏に与えられた十八通(一巻)は、京都の冠師(冠を作る人)三宅近江守が所持していたもので、恐らくほこ紙に等しい状態であったからか、冠師が入手したものとされる。つまり冠の下張りに利用されるはずのものが、冠師が京都の前田家に入ることから、偶然にも前田利家に始まる金沢藩主前田家の家臣で関心のある者が、文書の中身を聞きつけ、前田家へ献上させたものである。



野上文書の一部(右田兵庫助の名も見える)

人の動き

お悔やみ申し上げます

おめでとうございます

出生

おなまえ	年齢	行政区
原三 千 万	92	茅原小野
井上 一	85	井 手
小田十 九 海	84	串 野 下
内野 七 海	88	奥 双 石
今村 格 人	79	年 の 神
衛藤 清 人	80	下右田(野)
小野 正 明	65	金 山
矢野 三 吉	85	富 迫 上
森 文 三	98	北 恵 良 二
梅 木 一	95	奥 双 石
森 堅 年	84	川 下 南

1月1日～1月31日届出分
(敬称略)

おなまえ	性別	保護者	行政区
矢方 里奈	女	政臣	中村中二
松木 心優	女	辰徳	川下北
山本 結貴	女	昌志	吉部三

人口と世帯

人口 11,452 人 (-21)
 男 5,428 人 (-15)
 女 6,024 人 (-6)
 世帯 3,921 (-2)
 () は前月との増減

九重 キャンペーンレディを 募集します

九重連山などに代表される豊富な自然や温泉。そんな魅力的な観光スポットいっぱいの「九重町」の広告塔として、スタッフと一緒に観光宣伝などの仕事をしてみませんか。

【募集人数】 1人 (任期2年)

【応募資格】

- ・九重町在住の18歳以上の未婚女性の万
- ・町の行事や観光宣伝などに参加可能な方
- ・健康で明るく、町づくりにイメージにあった方

【応募方法】

- ・所定の応募用紙に必要事項を記入
- ・写真1枚添付
(上半身正面脱帽・サイズ縦4cm×横3cm)
- ・他薦の場合は必ず本人に事前承諾を得てください

【審査】

- ・書類審査及び面接 (日程は別途通知)

【発表】

- ・本人通知、新聞発表
- ・キャンペーンレディには副賞として国内旅行をはじめ多数の賞品を贈呈

【応募期限】 2007年3月30日(金)

【応募・問い合わせ】 役場商工観光課 ☎76-3150



キネマ旬報 ベストワン!

人生には降りられない舞台がある——
 まちのため、家族のため、友のため、
 そして自分の人生のために、
 少女たちはフラダンスに挑む。

2007年3月4日(日)

①12:30 ②15:30 ③19:00 (3回上映)

九重文化センター

前売券 1,000円 (高校生以下500円) *当日は各200円増し

昭和40年、斜陽化した炭鉱の町を救うため、少女たちが立ち上がった。常盤ハイツセンターの誕生を支えた人々の実話を元に、益踊りしか知らなかった少女たちがフラダンスに挑む姿を描いた感動作。昨年秋公開後、大きな人気を集め、キネマ旬報日本映画ベストワンをはじめ、今年の各映画賞を総なめするなど、完成度の高さも見ものです。
 出演は松雪泰子、豊川悦司、蒼井優、山崎静代(南海キャンディーズ)、岸部一徳、富司純子ほか

観客満足度も最高の映画、満足度100%、泣けます、熱い映画、大きい画面で見ないと損など絶賛の声が映画を見た人から寄せられています。

問い合わせ 九重文化センター ☎76-3888

3月の お知らせ

町長と語る
ふれあいタイム

3月10日(第2土曜日)

3月24日(第4土曜日)

午前10時～午後4時(日中開催)

場所は町長室です。お気軽においでください。

ももじ

■各地でどんど焼き	2・3	■町議会議員・農業委員選挙結果	11
■ホッケー女子北京オリンピックへ	4	■龍鶴苑を玖珠会へ譲渡	12
■麻生醤油醸造場に農林水産大臣賞	5	■保健(生活習慣病&献血)	13
■カッコウの翼	6	■鳥インフルエンザ/119	14
■各地でマラソン大会や駅伝	7	■図書館だより/ハート降るここのえ	15
■ニューススクラップブック	8・9	■くらしの情報	16・17
■藤澤昌由さん(町議会の今後)	10	■人権/休日当番/歳時記/時間旅行	19

編集後記

子どもを本好きにするためには、本がいつでもある環境を作っておけることが一番、そんな話をよく聞きます。これはいろいろなおことに応用できると思います。たとえば、まちづくり。これからは住民参加を進めるといわれるのが基本になりますが、ただかき声をつけるだけでダメ。町の中のいろいろなところで、住民参加をたくものような環境を作っていくかなんかできるものではないかと。さで、町にそれができているのか。「まだまだ」といのが正直なところじゃないでしょうか。地域が足早にさみしくなっている感じがします。人口減が一番の原因でしょうか。人とともにそこにあったはずの熱気もどこかに飛んでいってしまったようです。かつて各地区公民館が地域の熱気の発火点になっていた時代がありました。今はそれにかわるものがないのが悩み。各地区で「地域づくり協議会」の活動を活発にし、地域の発火点をつくる動きが、新年度早々に強まりました。期待。新しい町議会議員が決まりました。「無投票」に終わってしまった要因も、地域にあった熱気がどこかに飛んでしまったというのが大。「無投票」は議会、そして何より、そんな環境づくりができていない町に対する、住民からの非常にしんどい審判ととらえることもできそうです。一方、今回の事態を「曲がり角」ととらえる見方も、いい方向に向かうか否かはこれからしたい。つまり、地域づくりの進行が議会の活性化にもつながっていくというシナリオを描けるかどうか。「無投票」を今後への「期待票」ととらえる発想も大事です。最初へ話を戻します。本好きの子どもの育てるには、親がまずしっかり本を読む姿を見せることなども言われます。ちよつと乱暴な言い方かもしれませんが、町議が地域で町のことを熱く語る姿に住民が共鳴して、より良い町になっていくということはないでしょうか。というわけで、「無投票」となった選挙ですが、「こはひとつ、新しい議員へ、期待票」を一票入れたいと思います。もしよろしかったら、みなさんどうぞ。 Kochi-T

町の面積 271.41km² / 町の木 くぬぎ 花 ミヤマキリシマ 鳥 カッコウ